

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成26年 5月 7日に不適合管理委員会で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	原子炉格納容器高電導度廃液系サンプ液位検出スイッチにおいて、電気配線の絶縁不良による誤作動(サンプへの流入水無しで液位高検出)が認められたため、当該電気配線を点検・修理。	GIII	
2	1号機	富岡線2号線碍子洗浄弁において、弁シート部に漏えい(非放射性的の純水が鉛筆芯1本分)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GIII	
3	2号機	補機冷却海水系電解鉄イオン供給ポンプ本体排水弁において、弁シート部に漏えい(非放射性的の海水が鉛筆1本分)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GIII	H26.5.13再審議にてグレード変更対象外→GIII
4	2号機	補機冷却海水系電解鉄イオン供給ポンプ出口側排水弁において、弁シート部に漏えい(非放射性的の海水が鉛筆1本分)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GIII	H26.5.13再審議にてグレード変更対象外→GIII
5	2号機	換気空調系コントロール建屋電気品室空調機外気取入れ給気ダクトにおいて、タービン建屋3階南側壁貫通部より漏水(分析結果汚染無し)が認められたため、当該箇所を点検・修理。	GIII	
6	3号機	換気空調系中央制御室給気ファン(B)において、ファンの電動機側軸受より不定期に異音(ガラガラ音及びゴトゴト音)の発生が認められたため、当該軸受を点検・修理。	GIII	